

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号は **Ⓛ** 表示です。

BOX No.170704

車両情報

ダイハツ アトレーワゴン

S32# / 33#系

1 / 2 ページ

ES-89Light

Type

Opt.

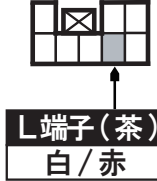
ドアロックリレーNLⅢ (EP070)

旧モデルは2 / 2 ページ参照のこと

Ⓛ 注意事項

- クランキング固定時間の設定 (セルモータを回す時間の変更) 機能は、使用できません。誤って設定を行うとクランキング時間が短くなりますのでこの設定は行わないでください。

グローブBOXを外し
中継の白色8Pカプラ



コラムカバー内左側
キーシリンダー直付け



- Ⓛ CN2のPポジション (青色) 配線を以下の通りに必ず配線してください。また、左下記の手順でフットブレーキを使用して、A/T車設定を行ってください。

- Ⓛ 旧 Light は、ドアロックリレーNo.001/NLR (EP028) が必要です。取り付けは、BOXNo.200001 を参照

- Ⓛ 必ず配線してください。(通常時: 0Vでフットブレーキを踏んだ時: 12V)

フットブレーキ右上側
白色4Pカプラ



- Ⓛ ドアロック/アンロックの配線は、2 / 2 ページを参照してください。

- Ⓛ コラムカバーはステアリングの裏側に2本隠れネジあり。

- Ⓛ ヒューズBOXは、上左側と下側のボルト2本を外してから、左手前に引っ張って動かします。(ドアロック/アンロック) の接続作業時=2 / 2 ページ参照

- Ⓛ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

A/T車設定が必要なモデルのみ

配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

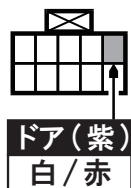
- ① 車両のキースイッチをONにする。
 - ② リモコンでSTOPを押す。
 - ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
 - ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
 - ⑤ 設定完了
- ※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容 (受信機CN2線色)

車両配線色



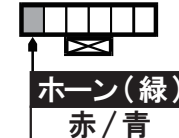
グローブBOXを外し
右上側のドアロックリレー
白色10Pカプラ



Pブレーキスイッチ
白色1Pカプラ

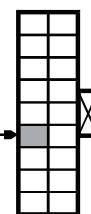


コラムカバー内下側
黄色カプラの横
黒色6Pカプラ



- Ⓛ 機能付き機種のみ配線

ヒューズBOX右側
3個並んだ一番下側
白色18Pカプラ



車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号は **Ⓛ** 表示です。

BOX No.170704

車両情報	ダイハツ アトレーワゴン 平成17年5月～19年9月	S32#/33#系	2/2ページ	ES-89Light	Type Opt. ドアロックリレーNLⅢ (EP070)
------	-------------------------------	-----------	--------	------------	----------------------------------

旧モデルは、オプションリレー（別売）を使用して、必ずCN2のPポジションをこのページの指示通りに接続すること。

旧モデルは、このページ参照のこと

旧 Light は、ドアロックリレNo.001/NLR (EP028) が必要です。取り付けは、BOXNo.200001 を参照

該当機種：旧 ES-89Pico/Light

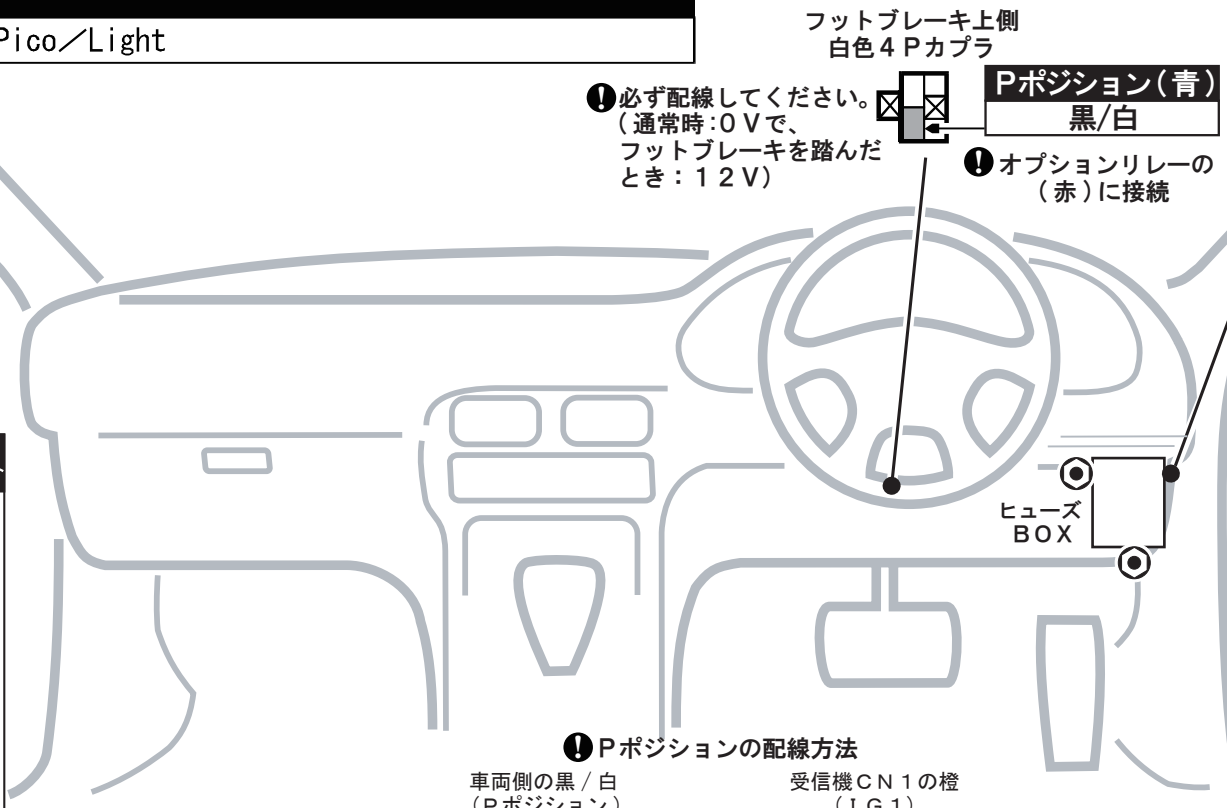
旧 P ポジション配線して、フットブレーキで行う。

A/T車設定が必要なモデルのみ

配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

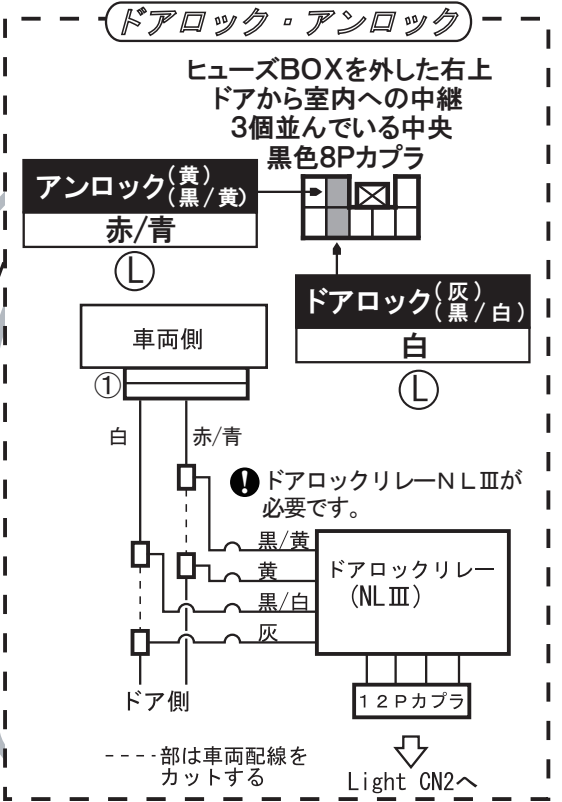
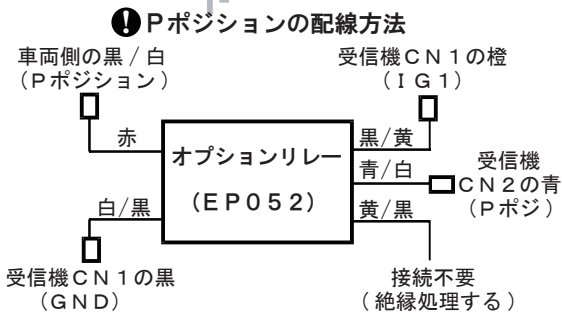
- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了
※設定作業をしないとエンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容 (受信機CN2線色)
車両配線色



必ず配線してください。
(通常時:0Vで、フットブレーキを踏んだとき:12V)

オプションリレーの(赤)に接続



- ① オプションリレー（別売）を使用して、左図のようにPポジション配線を接続してください。
- ② 受信機モードスイッチ2番をONにしてください。
- ③ A/T車設定が必要な機種は、フットブレーキでA/T車設定を行ってください。（設定手順は、左下記を参照）

この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。



車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

平成19年 9月 1日

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、必ずヒューズ（25A）付きの専用ハーネス（VAS対応品）で取り付けをしてください。



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VT120LがVAS対応品です。

②初年度登録が2006年（平成18年）6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル（オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル）については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準（新保安基準）に適合しており、全国自動車用品工業会（JAMA）の盗難発生警報装置自主基準（VAS）を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。（以下を確認してください）

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❶ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置（機能）を使用する場合、全てのドア（バックドア等も含む）開検知が必要です。

❶ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット（別売）が必要になります。

③登録証（全国自動車用品工業会自主基準登録証）は、必ずお客様にお渡しください。

❶ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。
なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。